

2021年度決算

株式会社フジクラ

2022年5月12日

目次

1. 2021年度実績及び2022年度予想
2. セグメント情報
3. 株主還元

1. 2021年度実績及び2022年度予想

2021年度決算のポイント

公表値との比較

- 銅価の影響及び情報通信事業部門におけるデータセンタ、FTTx向け需要及びエレクトロニクス事業部門における巣ごもり需要が想定を上回ったことから売上高、営業利益及び経常利益は修正公表値を上回った。
- 親会社株主に帰属する当期純利益については、上記の増益要因に加え、前回公表値に織り込んでいた減損損失を始めとするリスクが発現しなかったこと及び固定資産売却益の計上があったこと等により、前回公表予想より大幅な増益となった。

前年度との比較

- 売上高は、情報通信事業部門における各国のデータセンタ、FTTxに対応した需要が引き続き高いこと等により増収となった。
- 親会社株主に帰属する当期純損益は、増収に伴う営業利益の増加に加え、固定資産の売却や関係会社株式の売却による特別利益の計上があったこと等により大幅な増益となった。

2021年度実績と公表値との差異

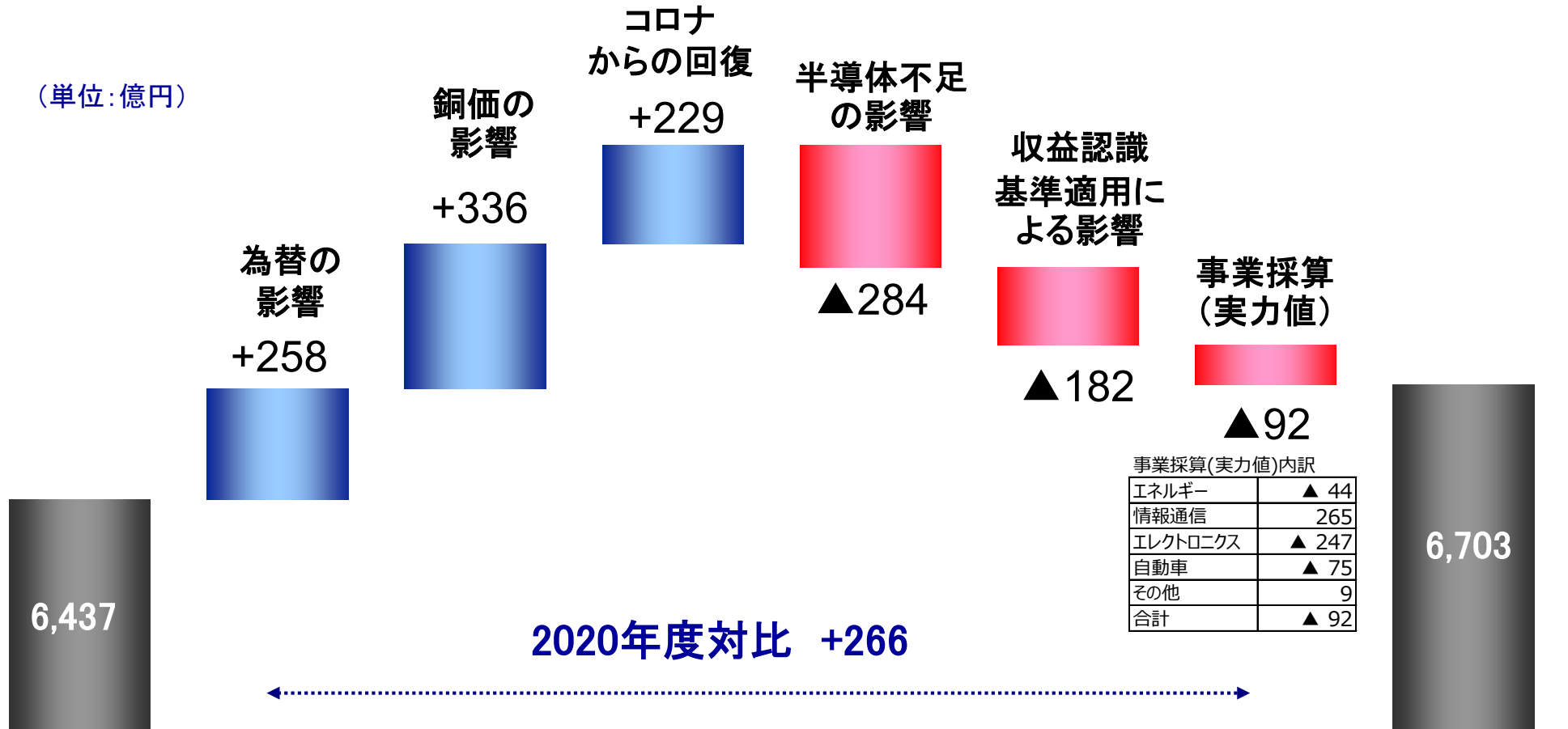
(単位:億円)

	2020年度 実績	2021年度 当初計画 公表値 2021. 5.14	2021年度 修正 公表値 2022. 2. 9	2021年度 実績	2021年度一 修正公表値 増減
売上高	6,437	6,000	6,505	6,703	198
営業利益	244	200	320	383	63
営業利益率 (%)	3.8	3.3	4.9	5.7	0.8
持分法投資損益	4	8	19	21	2
経常利益	184	165	275	341	66
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲54	65	170	391	221
1株当たり当期純利益(円)	▲19.50	23.60	61.68	141.85	80.17
1株当たり配当(円)	0.00	未定	未定	10.00	—
自己資本利益率(ROE)(%)	▲3.4	3.9	8.4	20.4	12.0
為替換算レート(USD/JPY)	106.11	105.00	111.00	112.40	—
銅ベース(千円/トン)	770	920	1,100	1,130	—

2021年度売上高の増減(前年度比) - 要因別

売上高

(単位: 億円)



事業採算(実力値)内訳

エネルギー	▲ 44
情報通信	265
エレクトロニクス	▲ 247
自動車	▲ 75
その他	9
合計	▲ 92

20年度
実績

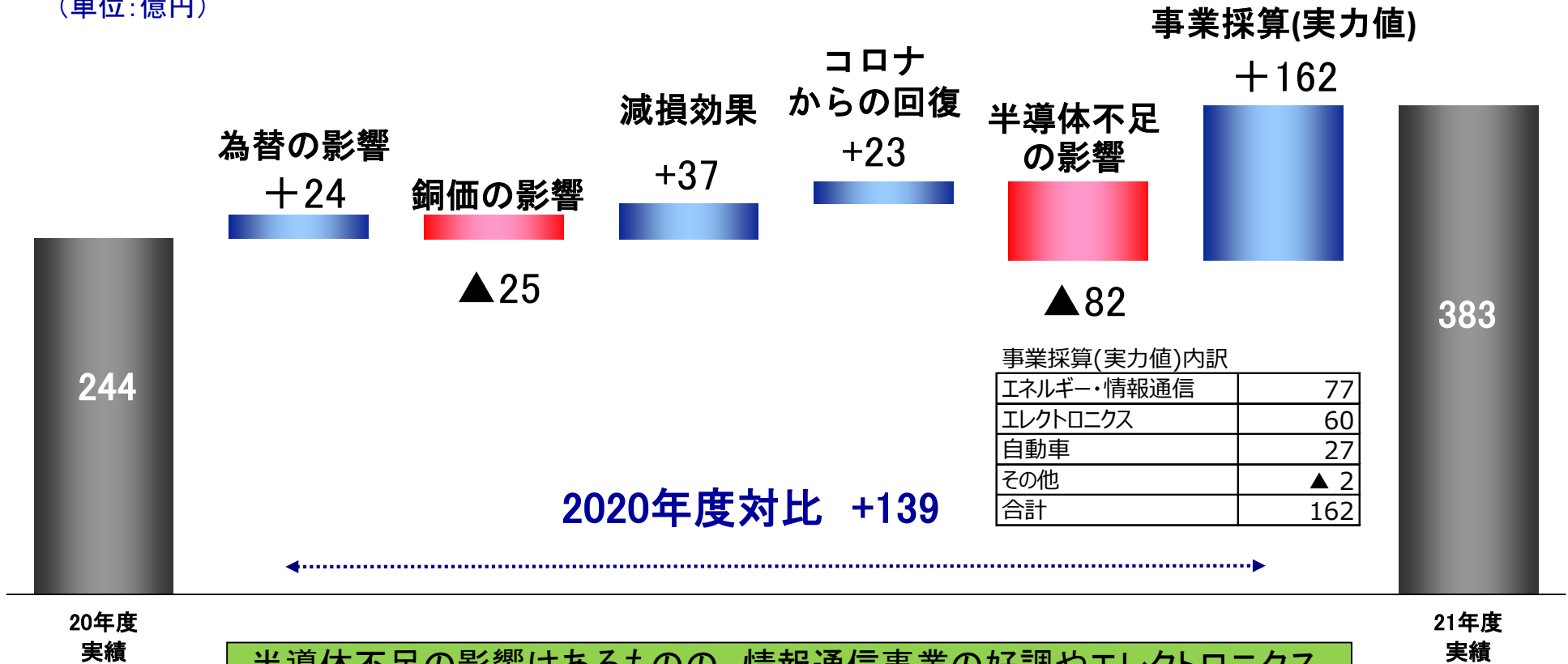
エレクトロニクス事業における採算重視の受注戦略による意図した減収はあるものの
情報通信事業の好調、コロナからの回復や銅価の上昇等により増収

21年度
実績

2021年度 営業利益の増減(前年度比) -要因別

営業利益

(単位:億円)



半導体不足の影響はあるものの、情報通信事業の好調やエレクトロニクス事業における採算重視の受注戦略による品種構成の良化等により増益

2021年度 特別損益及び税金項目

特別損益

(単位: 億円)

	2020年度	2021年度
営業利益	244	383
持分法投資損益	4	21
経常利益	184	341
特別利益	68	223
特別損失	240	47
税引前当期純利益	12	517
税金費用	53	115
非支配株主に帰属する 当期純利益	12	10
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(▲)	▲54	391

2021年度 特別損益計 176億円

- ・固定資産売却益 154億円
- ・関係会社売却益 57億円
- ・事業構造改善費用 ▲35億円 等

B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	21年3月末	22年3月末	増減
〈資産〉	5,691	6,115	424
流動資産	3,174	3,691	518
現金及び預金	747	910	163
受取手形、 売掛金及び契約資産	1,233	1,449	215
棚卸資産	1,005	1,126	122
固定資産	2,517	2,424	▲94
有形固定資産	1,840	1,741	▲99
無形固定資産	143	154	11
小計	1,983	1,895	▲88
投資その他の資産	534	528	▲6

エネルギー・情報通信事業部門における需要増及び銅価格上昇による売上増加の為

主にエネルギー・情報通信事業部門における需要増による棚卸資産の増加

設備投資	162億円
為替換算影響	109億円
減価償却費	▲305億円
除売却等	▲46億円

B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	21年3月末	22年3月末	増減
負債純資産合計	5,691	6,115	424
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲106)	3
〈負債〉	3,846	3,679	▲168
支払手形及び買掛金	685	718	33
有利子負債	2,419	2,115	▲304
その他負債	742	845	103
〈純資産〉	1,845	2,437	592
株主資本	1,575	1,971	396
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲106)	3
その他の包括利益累計額	54	234	180
非支配株主持分	217	232	15
自己資本比率(%)	28.6	36.1	7.5

主に当期純利益の増加と設備投資の抑制によるもの。
NET D/E Ratioは改善されている。
(51:49→35:65)
Net Debt 1,672⇒1,204 ▲468

為替換算調整勘定
170億円

有利子負債、金融収支、フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

	2020年度			2021年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
有利子負債①	2,700	2,419	2,419	2,406	2,115	2,115
現金及び預金②	669	747	747	794	910	910
①－②純有利子負債	2,031	1,672	1,672	1,612	1,204	1,204
金融収支	▲8	▲6	▲14	▲9	▲5	▲14
フリーキャッシュフロー	163	418	581	60	447	507

フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー＋支払利息＋投資活動によるキャッシュフロー

- **新型コロナウイルス感染症、半導体不足、ウクライナ・ロシア問題、各種原材料費・エネルギー費の高騰といった環境の不安があるものの、主力の情報通信ビジネスを中心に伸長させ増収を見込む。**
- **親会社株主に帰属する当期純利益については、21年度にあった固定資産売却益等の特殊要因を除外したベースでの比較では増益となる見込み。**

2022年度予想

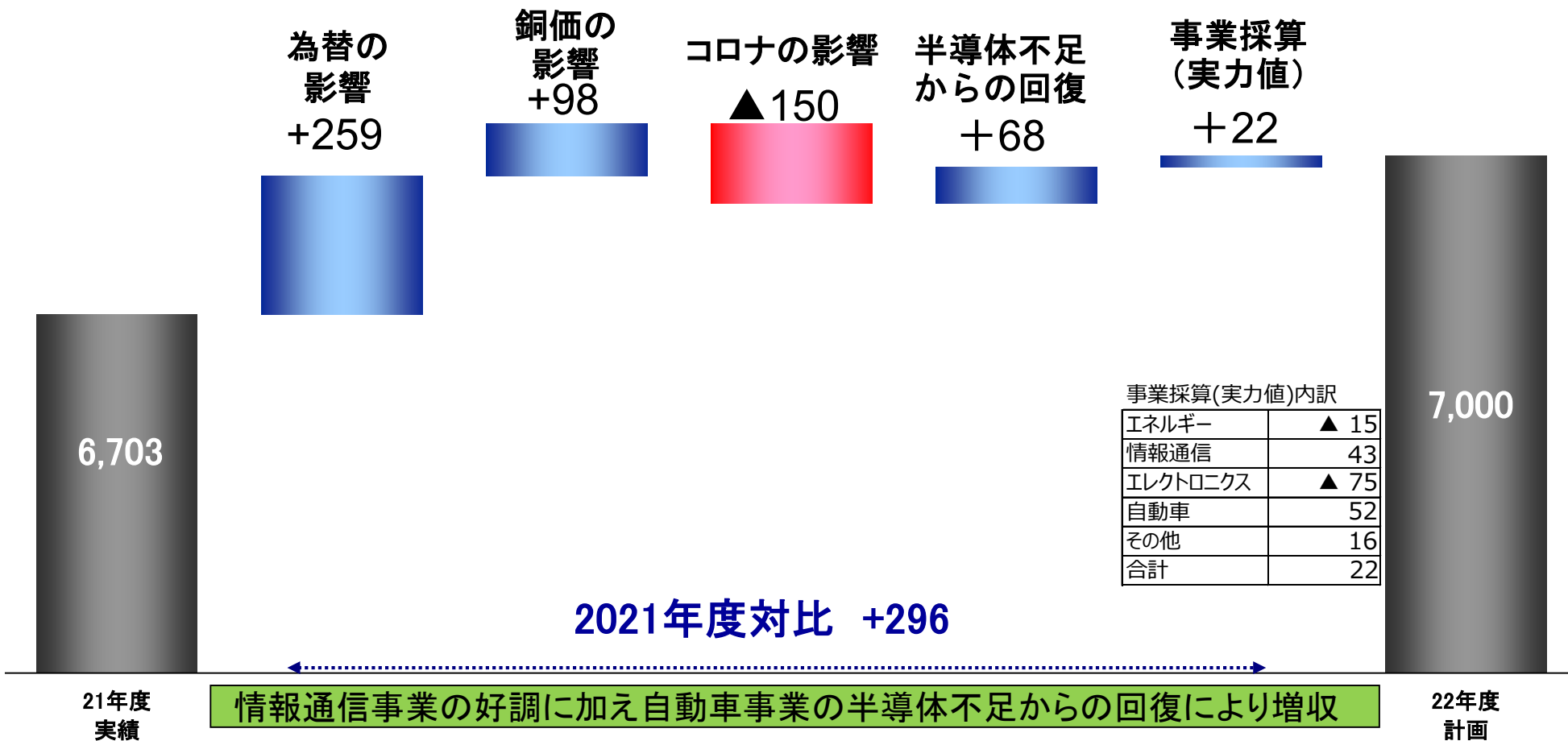
(単位:億円)

	2021年度 実績	2022年度 上期予想	2022年度 予想	2022年度予想 －2021年度実績 増減
売上高	6,703	3,400	7,000	296
営業利益	383	150	420	37
営業利益率 (%)	5.7	4.4	6.0	0.3
持分法投資損益	21	11	24	3
経常利益	341	130	370	29
親会社株主に帰属する 当期純利益	391	55	225	▲166
1株当たり当期純利益(円)	141.85	—	81.61	▲60.24
1株当たり配当(円)	10.00	0.00	16.00	6.00
自己資本利益率(ROE)(%)	20.4	—	9.8	▲10.6
為替換算レート(USD/JPY)	112.40	120.00	120.00	—
銅ベース(千円/トン)	1,130	1,200	1,200	—

22年度売上高の増減予想(21年度比) - 要因別

売上高

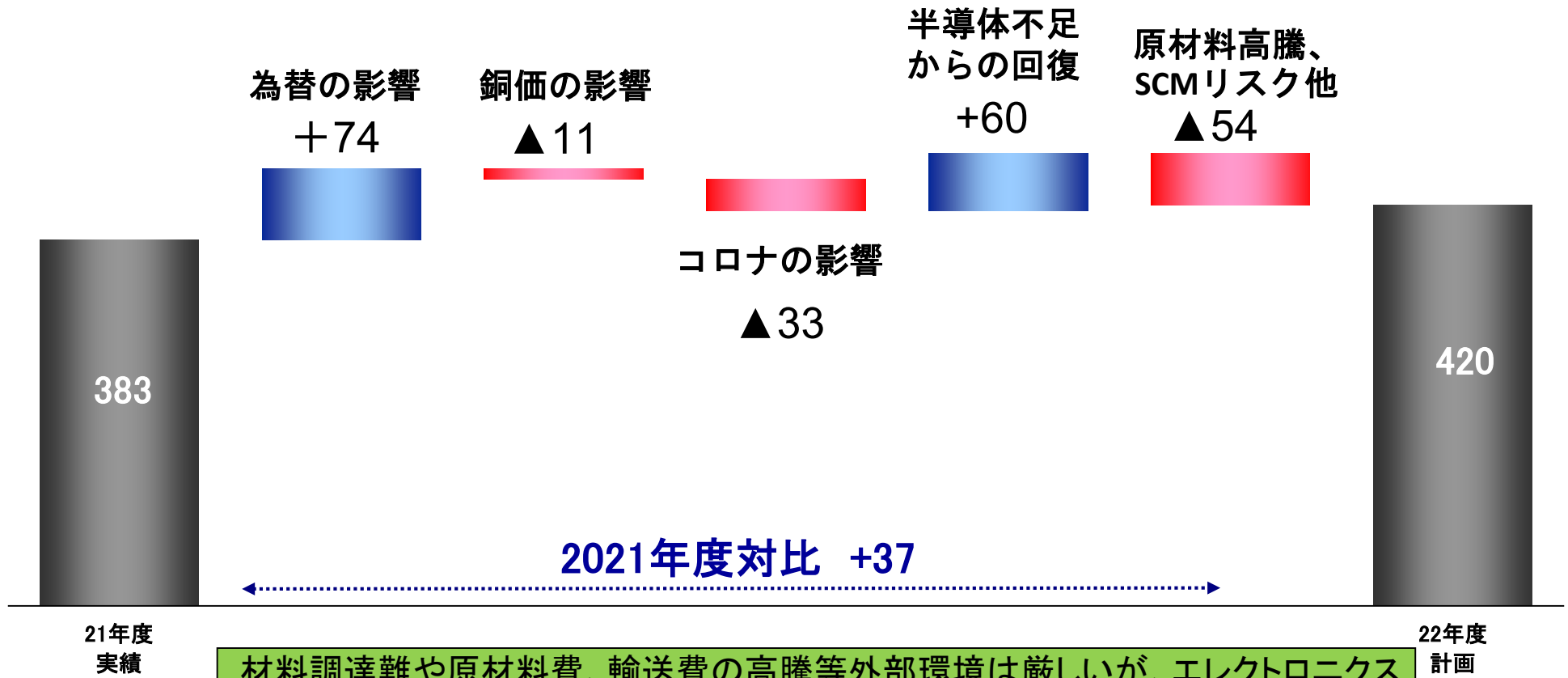
(単位: 億円)



22年度営業利益の増減予想(21年度比) -要因別

営業利益

(単位:億円)



材料調達難や原材料費、輸送費の高騰等外部環境は厳しいが、エレクトロニクス事業の収益性向上、自動車事業の採算改善により増益となる見込み

構造改革による改善効果

(単位:億円)

セグメント	累積 効果額	2020年度		2021年度		2022年度	
		実績	項目	実績	追加項目	見込み	追加項目
エネルギー・ 情報通信事業部門	32	32	【減損】 ・光ファイバ [*] 製造設備 (22億円) ・ファイバ [*] レーザ [*] 製造設備 (6億円)				
エレクトロニクス 事業部門	46	6		40	【減損】 ・FPC固定資産の減損(33億円) 【事業構造改善費用】 ・国内、アジアの人件費削減(7億円)		
自動車事業部門	53	40	【減損】 ・欧州ワイヤハーネス製造設備他 (15億円) 【事業構造改善費用】 ・欧州、アジア、北南米の人件費削減 (25億円)	11	【事業構造改善費用】 ・北米の人件費削減と東欧の 事業規模縮小	2	【事業構造改善費用】 ・北米の人件費削減
電子電装・コネクタ 事業部門	99	46		51		2	
その他	33	4	【事業構造改善費用】 ・本社他人件費削減	12	【事業構造改善費用】 ・本社他人件費削減	17	【事業構造改善費用】 ・本社他人件費削減
合計	164	82		63		19	

2. セグメント情報

セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

売上高

セグメント	20年度 実績	21年度 実績	22年度 上期予想	22年度 予想
エネルギー・ 情報通信事業部門	3,059	3,536	1,903	3,817
エレクトロニクス 事業部門	1,999	1,785	811	1,689
自動車 事業部門	1,219	1,213	597	1,307
電子電装・コネクタ 事業部門	3,218	2,998	1,407	2,996
不動産 事業部門	109	109	54	107
その他	52	60	36	81
合計	6,437	6,703	3,400	7,000

営業利益及び営業利益率

20年度 実績	21年度 実績	22年度 上期予想	22年度 予想
181	252	83	215
5.9%	7.1%	4.4%	5.6%
49	138	73	176
2.4%	7.7%	9.0%	10.4%
▲37	▲56	▲28	▲14
▲3.0%	▲4.6%	▲4.7%	▲1.1%
12	82	45	162
0.4%	2.7%	3.2%	5.4%
52	51	24	45
47.7%	47.2%	44.5%	42.0%
▲0	▲2	▲2	▲2
244	383	150	420
3.8%	5.7%	4.4%	6.0%

※2021年4月1日に組織再編を行い、従来のカンパニー制から事業部門制に移行いたしました。
これにより報告セグメントの名称を変更しておりますが、報告セグメントの区分に変更はありません。

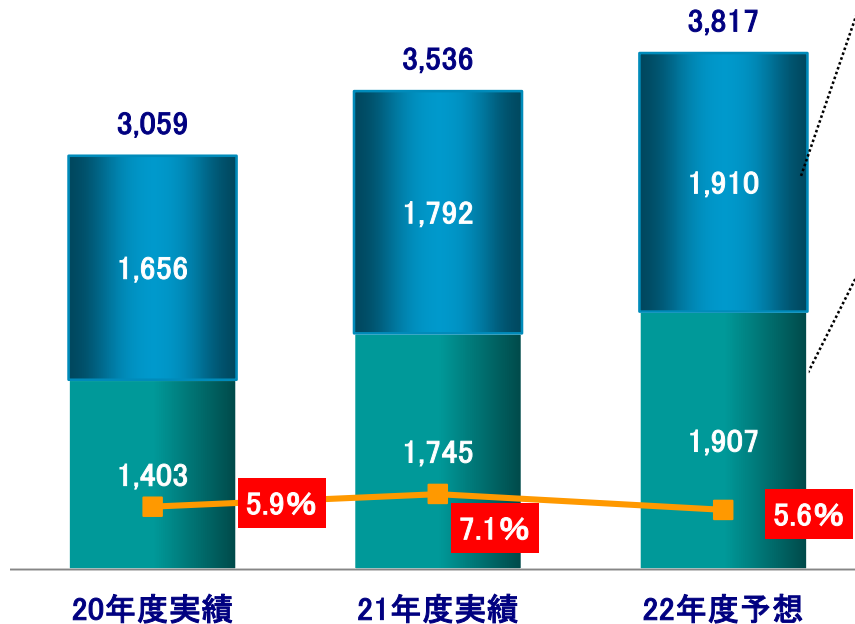
エネルギー・情報通信事業部門

- 21年度実績は、データセンタ、F T T xに対応した需要が高いこと等により増益
- 22年度は、主力事業が堅調に推移することから増収するも、材料調達難や原材料費、輸送費の高騰があり減益の見込み。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



エネルギー

- 21年度は、銅価の上昇により増収。
- 22年度も、主力事業が引き続き堅調に推移することから増収を見込む。

情報通信

- 21年度は、データセンタ、F T T xに対応した需要が高いこと等により増収。
- 22年度は増収を見込むも材料調達難や原材料費、輸送費の高騰があり減益の見込み。

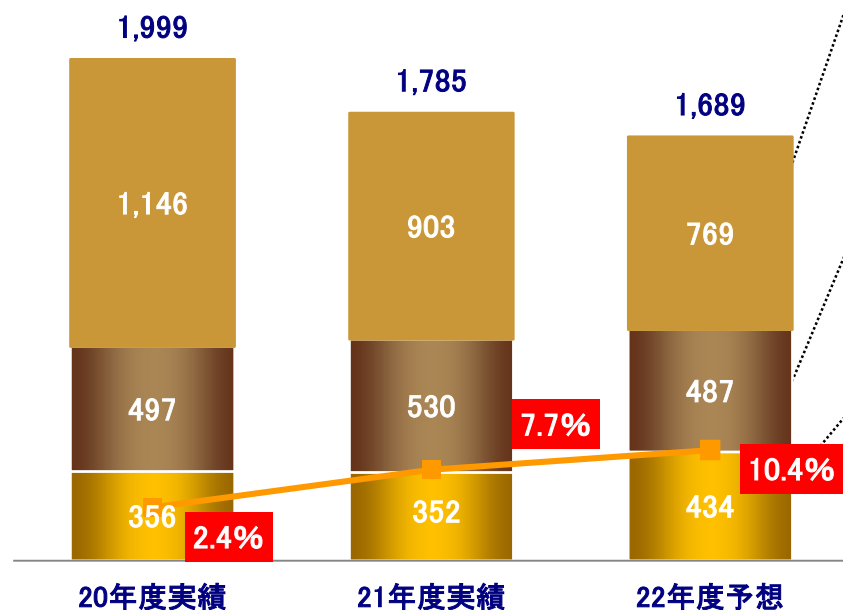
エレクトロニクス事業部門

- 21年度実績は採算重視の受注戦略を進めたことにより減収となったが、品種構成が良化したこと及び事業構造改革効果等により増益。
- 22年度は、新型コロナウイルス感染症の影響、スマートフォン需要の減少と採算重視の受注戦略により減収となるが高採算品の比率が高まり増益を見込む。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- FPC
- コネクタ
- 電子部品
- 営業利益率



FPC

- 21年度は、採算重視の受注戦略を進めたことにより減収も品種構成が良化したことにより増益。
- 22年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収となるが高採算品の比率が高まり増益となる見込み。

コネクタ

- 21年度は、スマートフォン向けを中心に増収。
- 22年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収。

電子部品

- 21年度は、前年度並み。
- 22年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るが、大型プロジェクトの受注により増収の見込み。

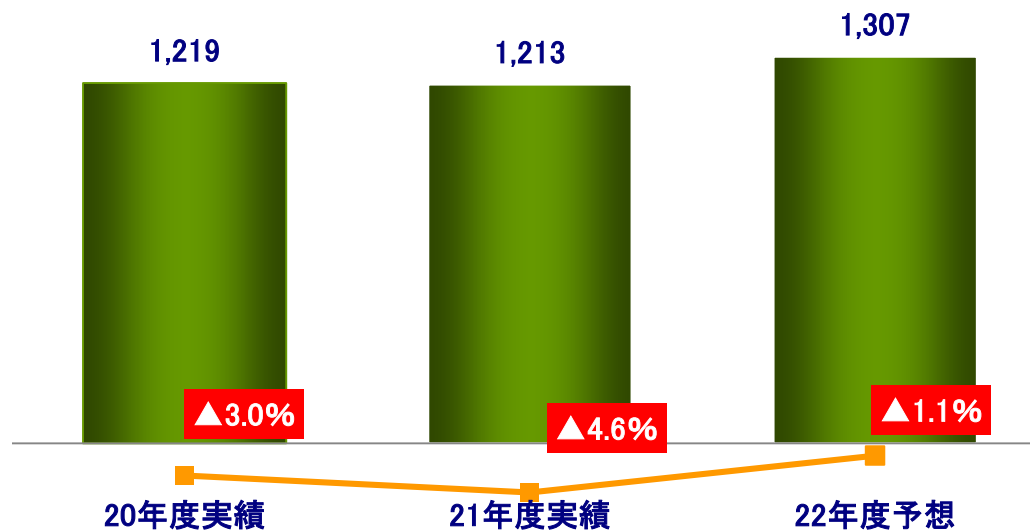
自動車事業部門

- 21年度実績は新型コロナウイルス感染症による大幅な減収から回復した一方、半導体不足、新型コロナウイルス感染症拡大による一部拠点の操業度の低下及び物流費の高騰等の影響が大きく、売上高は前年同期並みにとどまり、営業損失が拡大した。
- 22年度は新型コロナウイルス感染症や半導体不足の問題は下期から徐々に回復する見通しで増収となる見込み。

(単位:億円)

売上高と営業利益率

— 営業利益率



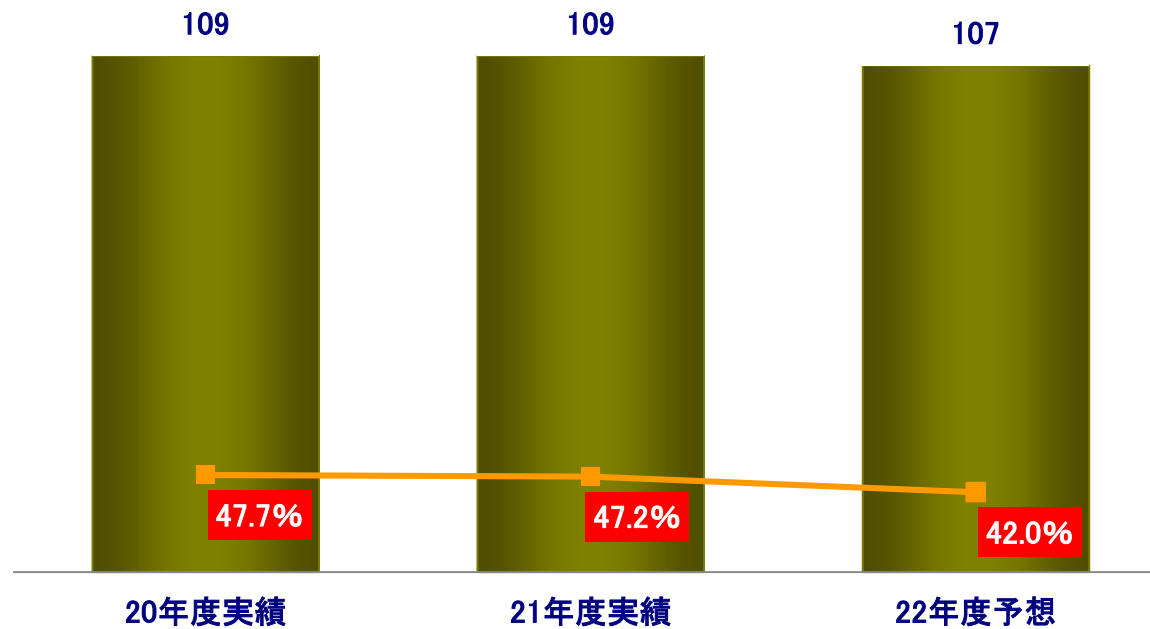
不動産事業部門

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。

(単位:億円)

売上高と営業利益率

— 営業利益率



3. 株主還元

■ 2021年度配当について

連結業績や経営環境等を総合的に勘案し、復配の環境が整ったと判断したことから、10.0円/株とさせていただきます。

■ 2022年度配当について

当社は、安定継続を基本とし、配当性向20%を目処とした利益還元を行う方針であり、2022年度の配当につきましては、連結業績や経営環境等を総合的に勘案し、16.0円/株とさせていただきます。



注記:本資料は22年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。22年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投資に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

【2021年度 補足資料】

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

事業セグメント別 売上高 推移

単位:億円

	2020年度							2021年度							2022年度予想		
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	上期	下期	年度予想
エネルギー	387	394	423	453	781	875	1,656	421	433	452	485	855	937	1,792	958	952	1,910
情報通信	318	373	361	351	691	712	1,403	409	428	442	466	837	907	1,745	944	963	1,907
エネルギー・情報通信事業部門	705	767	783	804	1,472	1,587	3,059	831	861	894	951	1,692	1,844	3,536	1,903	1,914	3,817
FPC	222	330	331	263	552	594	1,146	235	237	218	213	472	431	903	383	386	769
コネクタ	90	139	154	115	228	268	497	111	160	130	129	271	259	530	217	269	487
電子部品	81	94	92	89	175	181	356	86	89	95	82	175	177	352	210	224	434
エレクトロニクス事業部門	393	562	577	467	955	1,044	1,999	433	486	443	423	918	867	1,785	811	879	1,689
自動車事業部門	163	337	374	346	500	720	1,219	323	265	299	326	588	625	1,213	597	710	1,307
電子電装・コネクタ事業部門	556	899	951	813	1,454	1,764	3,218	756	751	742	749	1,506	1,492	2,998	1,407	1,589	2,996
不動産事業部門	27	27	28	27	54	55	109	27	27	27	27	55	54	109	54	52	107
その他	12	14	13	14	25	26	52	13	15	14	18	28	32	60	36	44	81
合計	1,299	1,706	1,775	1,658	3,005	3,432	6,437	1,627	1,654	1,677	1,745	3,281	3,423	6,703	3,400	3,600	7,000

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信事業部門	35	47	39	60	83	98	181	64	46	65	76	110	142	252	83	132	215
エレクトロニクス事業部門	△ 13	31	27	3	18	31	49	21	48	42	28	68	69	138	73	103	176
自動車事業部門	△ 28	△ 9	5	△ 5	△ 37	△ 0	△ 37	△ 2	△ 18	△ 22	△ 14	△ 19	△ 36	△ 56	△ 28	14	△ 14
電子電装・コネクタ事業部門	△ 41	22	32	△ 2	△ 19	30	12	19	30	19	14	49	33	82	45	117	162
不動産事業部門	13	13	13	13	26	26	52	14	13	11	13	27	24	51	24	21	45
その他	△ 1	0	0	0	△ 1	0	△ 0	△ 1	0	△ 2	0	△ 1	△ 2	△ 2	△ 2	0	△ 2
合計	6	83	84	71	89	155	244	97	89	94	103	186	197	383	150	270	420

※2021年度より管理体制を見直したため、セグメント名称を変更しておりますが、2020年度の数値に変更はありません。

株式会社フジクラ